

# 由利本荘市 第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

## 1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和5年10月30日

作成担当部署 観光振興課、東由利総合支所産業建設課

## 2 第三セクターの概要

法人名 株式会社黄桜の里

代表者名 代表取締役社長 長谷山 博昭

所在地 由利本荘市東由利老方字畑田 26番地

設立年月日 平成7年5月25日

資本金 96,000千円 【由利本荘市の出資額（出資割合）90,000千円（93.75%）】

業務内容 由利本荘市東由利温泉保養施設黄桜温泉「湯楽里」、  
由利本荘市東由利産地形成促進施設の管理運営

## 3 経営状況、財政的リスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

東由利温泉保養施設黄桜温泉「湯楽里」は、人口減少が続く旧東由利町において、交流人口を増やし地域を活性化させる目的で、平成7年に開業した。また、地域住民の福祉施設としての役割も担っている。

運営会社である株式会社黄桜の里は、平成29年度を境に売上が年々減少し、損益分岐点を超えない年度が続いた。令和2年度以降、大幅な固定費削減に取り組み、損益分岐点を引き下げ、黒字化への基盤を再構築したが、新型コロナウイルス感染症の蔓延や電気料金・物価の高騰により、引き下げた損益分岐点に達することができず、令和4年度に債務超過法人となった。

市は、毎月1回、株式会社黄桜の里との営業会議を開催し、経営健全化に対するアドバイスをしている。また、地域の会議等で市民への利用を呼びかけたり、クーポン配布や過去に宴会利用実績のある団体への営業活動などを推進し、債務超過の解消と安定経営に向けた努力を継続している。

## 4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

市では、令和2年12月の市議会による「第三セクターに係る調査特別委員会の調査に基づく提言」とそれに対する市の考え方を踏まえ、令和4年3月に「第三セクターの見直しに関する指針」を策定しており、法人が経営悪化状態と認められる場合には、その解消を図るため「経営改善計画」の提出を求めることとしている。

株式会社黄桜の里については、単年度収支及び剰余金がマイナスであるため、令和4年度から3年間の計画の策定を求め、毎年度改善に向けた点検・評価を行っており、進捗状況によっては、事業の存廃や法人のあり方についても検討することとしている。

株式会社黄桜の里の経営健全化には、以下の取り組みが必要とされている。

- ①人件費や販売管理費などの固定費の大幅な削減。
- ②赤字となっているファーストフード店の閉店の検討。
- ③従業員の雇用条件の改善及び経費圧縮の観点から、休業日の増加や時短営業の検討。
- ④コロナ禍などの状況下でも利用してもらえる営業の強化。
- ⑤情報発信の強化。

これらの取り組みについて、可能なものから迅速に対応していく。

## 5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

- 株式会社黄桜の里では、経営健全化を図るため、以下の取り組みを実施し、今後も継続していく。
- ①人員をコロナ禍以前の34人から22人まで削減し、固定費の削減を実施した。また、人員配置の効率化を図るため、各部門間の応援体制を強化した。さらに、人員不足の補完と予約稼働率向上のため、レストランの一般席の一部を簡易的な半個室に改築した。
  - ②道の駅東由利に隣接する地場産業センターで営業していたファーストフード店を閉店し、固定費の削減を実施した。人気のあったソフトクリームは、温泉施設内に販売コーナーを移設して継続販売している。
  - ③真空包装機を導入し、食品ロスを抑えることで過剰在庫の削減に努め、原価率の改善を図った。
  - ④宴会の増販を行うため、過去利用履歴リストからの2カ月前営業を実施している。
  - ⑤冬季の集客対策として物販フェアなどのイベントを実施する予定。
  - ⑥レストランのランチタイムの客席稼働率を100%にし、半個室の予約需要を促進するフェアを実施予定。
  - ⑦秋田県のサンカク事業を利用し、湯楽里オリジナルクラフトビールをECサイトなどで販売し、販路拡大と新たな売上の増加を図る。
  - ⑧湯楽里ホームページやX（旧Twitter）、LINEなどを活用し、情報発信を強化している。
- これらの取り組みにより、固定費の削減と集客増加を実現し、損益分岐点を引き下げ、黒字化を目指す。また、コロナ禍が落ち着きを見せてきたことから、これからは増販に注力し、単月の黒字化を積み重ね、早期の債務超過解消を目指す。

## 6 法人の財務状況

|         | 項目              | 金額（千円）     |            |            |
|---------|-----------------|------------|------------|------------|
|         |                 | 令和2年度      | 令和3年度      | 令和4年度      |
| 貸借対照表から | 資産総額            | 46,806     | 41,015     | 30,533     |
|         | （うち現預金）         | （ 31,160 ） | （ 24,069 ） | （ 11,275 ） |
|         | （うち売上債権）        | （ 495 ）    | （ 431 ）    | （ 1,425 ）  |
|         | （うち棚卸資産）        | （ 4,726 ）  | （ 4,289 ）  | （ 4,997 ）  |
|         | 負債総額            | 42,246     | 38,696     | 47,203     |
|         | （うち由利本荘市からの借入金） | （ 0 ）      | （ 0 ）      | （ 0 ）      |
|         | 純資産額            | 4,560      | 2,318      | △ 16,669   |

|         | 項目         | 金額（千円）   |          |          |
|---------|------------|----------|----------|----------|
|         |            | 令和2年度    | 令和3年度    | 令和4年度    |
| 損益計算書から | 経常収益       | 94,867   | 97,182   | 98,797   |
|         | 経常費用       | 148,198  | 151,035  | 158,155  |
|         | 経常損益       | △ 53,331 | △ 53,853 | △ 59,358 |
|         | 経常外損益      | 43,876   | 51,796   | 40,553   |
|         | 当期純損益（税引後） | △ 9,638  | △ 2,241  | △ 18,988 |